

北東アジア地域自治体連合第17回環境分科委員会の開催結果(概要)について

2026年1月28日(水)に、北東アジア地域自治体連合第17回環境分科委員会がオンライン形式で開催された。

今回の会議では、次期コーディネート自治体に富山県が引き続き選出されるとともに、環境分科委員会の2025年個別プロジェクトの実施状況の報告があった。また、2026年個別プロジェクトとして、継続5件(富山県3件、トムスク州2件)の提案が全て了承されたほか、個別プロジェクトの活性化に向けた意見・情報交換が実施された。

1 目的

北東アジア地域自治体連合の会員自治体等が実施している環境保全に関する個別プロジェクトの円滑な実施や情報共有等を図り、同地域の環境保全対策を推進する。

2 日時

2026年1月28日(水) 10:00~15:40

3 開催方法

オンライン開催

4 主催

富山県、北東アジア地域自治体連合 (NEAR)
(事務局：公益財団法人環日本海環境協力センター)

5 参加自治体

3か国10自治体

- ・日本(6)：富山県、山形県、兵庫県、鳥取県、島根県、沖縄県(オブザーバー)
- ・韓国(2)：忠清南道、慶尚南道
- ・ロシア(2)：ハバロフスク地方、トムスク州

6 主な結果

(1) 次期コーディネート自治体の選出(協議)

次期コーディネート自治体に富山県が選出された(任期：2年間)。

(2) 環境分科委員会の活動状況の報告

2025年個別プロジェクトについて、各提案自治体から活動報告がなされた。

2025年個別プロジェクト名	提案自治体
北東アジア地域青少年環境サミット	富山県
漂着物の発生抑制に関する調査・啓発事業	富山県
北東アジア地域環境ポスター展	慶尚南道
海岸生物調査	富山県
フォトコンテスト「Eco-selfieー自撮りで環境保護」	トムスク州
北東アジア地域生物季節調査	富山県

(3) 2026年個別プロジェクトの協議

2026年個別プロジェクトとして、各提案自治体から継続5件の提案があり、全て了承され、実施されることになった。また、個別プロジェクトの活性化に向けた意見・情報交換が実施された。

2026年個別プロジェクト名	提案自治体
【継続】漂着物の発生抑制に関する調査・啓発事業	富山県
【継続】北東アジア地域環境ポスター展	トムスク州
【継続】海岸生物調査	富山県
【継続】フォトコンテスト「Eco-selfieー自撮りで環境保護」	トムスク州
【継続】北東アジア地域生物季節調査	富山県

(4) その他の協議

- ① 参考事例として、モンゴルドンドゴビ県における砂漠化防止の取組みについてコーディネート自治体（富山県）から紹介した。
- ② 富山県、山形県、慶尚南道、ハバロフスク地方、トムスク州から環境教育の取組状況を紹介し、各自治体の取組みについて質疑や意見交換を行った。また、各自治体の環境教育の実施状況を踏まえ、コーディネート自治体は、今後関係自治体に意見照会を行いながら、環境教育に係る新規プロジェクトの検討を行うこととなった。
- ③ 環境分科委員会の今後2年間の活動計画についてコーディネート自治体から説明があり、了承された。

また、環境分科委員会の活動にあたっては、環境問題を取り巻く世界的な動向を踏まえ、SDGsの実現、気候変動対策、生物多様性の保全及び海洋環境の保全等に配慮するとともに、北東アジア地域青少年環境サミットにおいて参加国の学生から提案のあった今後取り組むべき環境保全活動を踏まえることとされた。

さらに、環境分科委員会の活動は、「2016とやま宣言*」を受け、北東アジア地域の環境保全に関する具体的な取組みの1つとして位置付けていることから、参加自治体に協力をお願いした。



環境分科委員会事務局会場の様子

- * 2016北東アジア自治体環境専門家会合とやま宣言（2016とやま宣言）について
2016年5月のG7 富山環境大臣会合に合わせて、日中韓露の自治体職員等参加のもと開催された「2016北東アジア自治体環境専門家会合inとやま」において、北東アジア地域の豊かな環境を将来の世代に引き継ぐために連携して取り組んでいくこととして採択された宣言で、「地球環境問題への積極的な貢献」、「市民協働、環境教育の推進」、「国際的な対話の推進」といった具体的取組みの方向性が盛り込まれている。